



情報・人間工学領域

人と共栄する情報技術の分野横断的活用と深化による社会課題への取り組み

情報は人々が現在の社会生活を送る上で不可欠な要素となっています。安全・快適で豊かな未来社会の実現には情報のサイバー空間と人間・社会のフィジカル空間相互の知的情報を濃厚に融和させることが鍵となります。情報技術を社会の広い分野に適用することが共通の問題を解決し、情報が創り出す新たな価値は社会に変革と可能性を期待させます。情報学と人間工学を柱としたインタラクションによって健全な社会の発展に貢献します。



領域長
関口 智嗣



研究戦略部長
伊藤 智



研究企画室長
谷川 民生



ヒューマノイド
ロボット



歩行評価技術

重点戦略概要

ビックデータから価値を創造する人工知能技術の開発

様々な分野で得られるデータは指数関数的に増大し、従来技術により解析することが困難になってきています。大量のデータを解析し意味のある情報を引き出して利活用するビックデータを用いた人工知能を開発します。

産業や社会システムの高度化に資するサイバーフィジカルシステム技術の開発

ひと、もの、サービスから得られる情報を融合し、産業や社会システムの高度化に資するサイバーフィジカルシステムを実現する統合クラウド技術や軽量でスケーラブルなセキュリティ技術、そこから得られるデータをサービスの価値に繋げる技術などを開発します。

快適で安全な社会生活を実現する人間計測評価技術の開発

人間の生理・認知・運動機能などのヒューマンファクターを明らかにし、安全で快適な社会生活を実現するため、自動車運転状態をはじめとする人間活動の測定評価技術を開発します。また、人

間の運動や感覚機能を向上させる訓練技術を開発します。

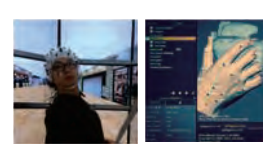
産業と生活に革新的変革を実現するロボット技術の開発

介護サービス、屋内外の移動支援サービス、製造業など様々な産業においてロボットによるイノベーションの実現をめざし、人間共存型産業用等のロボットや評価基準・評価技術などの関連技術を開発します。また、環境変化に強く自律的な作業を実現するロボット中核基盤技術を開発します。

ロボット

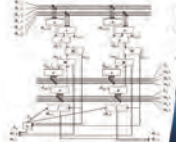


人間計測評価



情報・人間工学領域

人工知能



サイバー・フィジカル・システム

